



**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release  
2020.9/7

## Hand Specimen 小さな石と大きな景色と水平線

衣川泰典（美術家）× 西田勝一（鉱物コレクター）

KINUKAWA Yasunori × NISHIDA Katsuichi exhibition of lithograph & mineral collection

2020.10/3sat-10/11sun 10/8木曜日休廊

12:00-18:00



ぜひ、貴社・貴紙にてご紹介いただけましたら幸甚に存じます。  
掲載に関しまして画像等の貸し出しなどのご要望がございましたら  
下記までご連絡くださいませ。何卒よろしくお願いいたします。

ギャラリー・ヘプタゴン

代表 佐山晶子

〒602-8175 京都市上京区下立売通り智恵光院西入る中村町5 2 3

info@heptagonworks.com

TEL:080-7583-3388

www.heptagonworks.com



**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

この度 Gallery Heptagon では、美術家 衣川泰典と鉱物コレクター 西田勝一による“石”をテーマとした展覧会『hand specimen 小さな石と大きな景色と水平線』を開催します。

衣川泰典は、自身の作家活動とともに近年アートプロジェクトチーム「Lighter but Heavier」のメンバーのひとりとしてリトグラフの研究、検証、展覧会企画を行っています。リトグラフは「石版画」とも呼ばれ、元は炭酸カルシウムを多く含有する石灰石を版材とした印刷技術のことをさします。衣川はその石灰石への好奇心から、国内で拾った石灰石にもとあった場所の風景を直接描き石版画にするという手法で「my little stone」という作品シリーズを制作しています。国内の石灰石が取れる場所をリサーチし、自らの手で石を裁断、描画、製版、印刷という工程を経てもとあった景色を石に写しとること。これらは石の記憶として、衣川が石と出会った風景のイメージを重ね描くことで人間が体感する時間とは異なるスケールの悠久の時間が作品に内包されます。

西田勝一はおよそ 30 年という時間をかけ鉱物を蒐集しています。少年時代に石が自然と結晶することに感動し、鉱物のとりことになりました。中学生の頃、博物館で見た鉱物が意外と身近な場所で採集できることを知ったことから、蒐集の道が始まりました。鉱物に対する好奇心から化学・地質などへの興味を深め、日本新産鉱物を 3 種 (Preisingerite, Bendadaite, Picroparmacolite) 発見に寄与する実績※を収めました。今日に至るまで日々、新鉱物発見への熱意を胸に日本各地での鉱物探索を継続しています。

「hand specimen」とは、少し聞き馴染みのない言葉ですが、蒐集家の間では手のひらサイズの標本のことを意味する言葉として扱われています。標本にもあまたあり、中には巨大なものもあります。蒐集家によっては特定鉱物、産地情報、化学と元素、見た目の綺麗さなどと興味の対象は異なるようです。しかし掌の上に乗るものを選ぶことを自らの蒐集における美学とする西田のコレクション、また衣川の手のひらサイズの版から生みだされる風景のイメージにちなみ、展覧会タイトルといたしました。

ふたりが興味を持つ鉱物は、地球規模の何万年という時間と、高温・高圧などの様々な条件が複雑に掛け合わされて生み出されてきた奇跡そのもの。専門的なルーペを用いて鉱物の表面を見ると、まるで大地や海底の姿を俯瞰して眺めているような特別な感覚を覚えます。

本展では、これらの鉱物に内包されている不可視なものに着目したいと考えます。

小さな石を見つめるということは、必然的に自然と人工という相対的な関係について考えますし、石の存在の背景にある長い時間や物語などについて想像することができるでしょう。それは、地学・化学・芸術による探究心を持って目の前にある素朴なものを見つめることで、新たな創造を生み出すための発見に繋がるのではないのでしょうか。手のひらの石たちは、私たちの視覚・触覚・知覚に静かに語りかけてきます。進行形の現在を生きる私たちには決して見ることにも体験することもかなわない、小さな石のもつ大きな景色について、想像を膨らませる機会になれば幸いです。ルーペのなかのきらめきとともに。ぜひご覧ください。

※参照

<https://staff.aist.go.jp/miyagi.iso14000/nkysdb/7b/63/62bafd1d340493d6ff35291ed69d44b7957d.html>

2005: 山口県美祢市大和鉱山産 preisingerite、2009: 大分県木浦鉱山産 bendadaite と鉄硫酸塩鉱物、2009: 大分県木浦鉱山産ピクロファーマコ石 (地学研究、日本鉱物科学会の学会発表と岩石鉱物科学誌の掲載)



**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING



衣川泰典

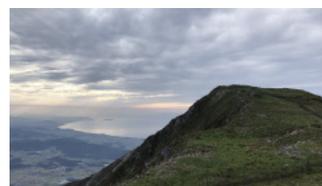
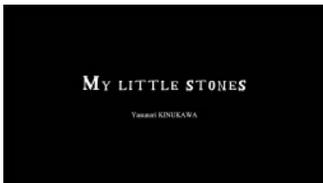
my little stone\_イヌワシ# 4 / 2018

355×270mm / 石版画、雁皮紙、いづみ、石灰石



衣川泰典

my little stones / 2019-2020 / 映像 / 4分 15秒





**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING



衣川泰典

my little stone\_海 #1 石灰石 2020

my little stone\_リュウオウギク #3 石灰石 2018

my little stone\_イヌワシ #2 石灰石 2018

西田勝一

1 段目 右 錫石と水晶 京都府鐘打(かねうち) 鉱山

2 段目 中央 黄鉄鉱と水晶 青森県尾太(おつづ) 鉱山

2 段目 右 輝安鉱 愛媛県市之川(いちのかわ) 鉱山

3 段目 右 方解石 逸見石(へんみいし) 岡山県布賀(ふか) 鉱山

4 段目 黄鉄鉱 秋田県尾去沢(おさりざわ) 鉱山



**GALLERY HEPTAGON**  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

## 衣川泰典 KINUKAWA Yasunori

### 【略歴】

1978 京都生まれ  
2002 京都精華大学芸術学部造形学科卒業  
2004 京都精華大学大学院芸術研究科造形専攻修了  
京都在住

### 【主な展覧会など】

2020 「Stone Letter Project #4 The new stone age」(愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA / 愛知)  
2019 「Stone Letter Project #3 石版工房 Site-specific Lithography」(京都場 / 京都)  
「Stone Letter Project #2 Dialog Through The Limestones」(Facultat de Belles Arts Sala D'exposicions, ESPAI NAU U Escola Llotja Sant Andreu / Barcelona, Spain)  
2018 「International Biennale of Lithography」(Parobrod cultural institution / Belgrade, Serbia)  
「The International Lithography Days」(Münchner Künstlerhaus / München, Germany)  
「Lighter but Heavier」(KOBE STUDIO Y3 / 神戸)  
2017 「Stone Letter Project #1 石からの手紙」(Gallery TRI-ANGLE 宝塚大学 / 兵庫)  
2016 「LITHOGRAPH: Lighter but Heavier」(GALLERY blanka / 名古屋)  
2015 「オバケに 100 回触れてみる」(愛知県美術館ギャラリー / florist\_gallery N / 愛知)  
個展「スクラップブックのような絵画 II」(ギャラリー揺 / 京都)  
2014 個展「藍色の風景」(高島屋ギャラリー NEXT / 大阪)  
「奈良・町家の芸術祭 はならあと『在り処をみる』」(奈良きたまち 工場跡 / 奈良)  
「KAMIKOANI プロジェクト秋田 2014」(旧沖田面小学校 / 秋田)  
2013 個展「スクラップブックのような絵画」(AIR 南山城村 / 京都)  
2012 個展「僕達の記憶 スクラップブックのような」(LIXIL ギャラリー GALLERY2 / 東京)  
2011 「第 14 回岡本太郎現代芸術賞展」(川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川)  
2010 個展「束の間の私達」(neutron tokyo / 東京)

### 【パブリックコレクション】

青森市民美術展示館、町田市立国際版画美術館、京都精華大学、International Biennale of Lithography (Belgrade, Serbia)

## 西田勝一 NISHIDA Katsuichi

1970 京都府生まれ  
1993 立命館大学産業社会学部 卒業  
日本鉱物科学会 日本地学研究会 所属  
京都在住

地球の営みを凝縮した鉱物の結晶に感動し、特に日本産鉱物を蒐集。鉱山関係者からはもちろん、自身もフィールドに出て標本収集することで情報を常に吸収、日本産鉱物の魅力を発信し続けている。

### 標本展示企画

2016 「尾去沢鉱山の鉱物 佐藤健一氏コレクション」 益富地学会館、京都  
2017 「○×△□ 鉱物収集の楽しみ方展」 益富地学会館、京都  
2018 「神岡鉱山産鉱物標本展」 益富地学会館、京都

### 研究発表

2003: 岡山県井原市日吉鉱山産ベイルドン石 西田勝一 藤原由輝 地学研究, 51-4, 211-212  
2004: 和歌山県すさみ町三陽鉱山産 alloclasite 日本鉱物科学会 2004 年年会  
2005: 山口県美祢市大和鉱山産 preisingerite 大西政之 草地功 小林祥一 藤原由輝 西田勝一 日本鉱物科学会 2005 年年会  
2007: 京都府京丹波市鐘打鉱山産銅重石華 西田勝一 地学研究, 56-3, 164-165  
2009: 大分県木浦鉱山産 bendadaite と鉄硫酸塩鉱物 松原聡 宮脇律郎 重岡昌子 但馬秀政 西田勝一 藤原由輝 日本鉱物科学会 2009 年年会  
2009: 大分県木浦鉱山産ピクローファーマコ石 藤原由輝 西田勝一 地学研究, 57-4, 195-198  
2012: 山口県大和鉱山産 パルノー石 西田勝一 地学研究, 60-2, 106  
2014: 福井県剣岳鉱山産 ジョクロン鉱 橋本成弘 山田隆 小菅康寛 藤原由輝 西田勝一 石橋隆 藤原卓 松原聡 日本鉱物科学会 2014 年年会